

浜村地区 地域づくり懇談会 議事録

1 日 時 平成28年10月4日(火) 19:00~20:05

2 会 場 気高町コミュニティセンター

3 出席者 地元出席者 48名
市側出席者 16名

深澤市長、羽場副市長、河井総務部長、高橋防災調整監、田中中核市推進局長、田中企画推進部長、久野地域振興局長、大田経済観光部長、渡邊秘書課長

<気高町総合支所>鈴木支所長、橋本副支所長(司会)、村上市民福祉課長、木下産業建設課長

<事務局>岡本協働推進課課長補佐、酒本協働推進課主任、北村協働推進課主事

4 中核市移行についての説明

(中核市推進局長) ※チラシに基づき説明

5 都市計画マスタープランについての説明

(都市整備部長) ※チラシに基づき説明

6 地域の重要課題について

1 浜村温泉館について

<地域課題>

浜村温泉館は、施設点検と調査の為とのことで、平成28年3月末日をもって休館しています。

浜村温泉館の再開は、「貝がら節のふる里」のまちづくりの拠点として活用し、地域の活性化を図ることができます。

現在までの点検・調査結果と、今後の方針をお伺いしたい。

<担当部局の所見等>

【経済観光部】

現在、10月末までの予定で施設点検調査を実施中です。

この点検調査により、施設の不具合箇所とその対応に要する概算費用を出すこととしており、調査結果をもとに、皆様の意見も伺いながら施設の対応方針を検討していきたいと考えます。

検討にあたっては、気高地域はもとより、鳥取西地域の活性化や指定管理者の運営のあり方、FM(ファシリティマネジメント)など幅広い観点で検討する必要があると考えています。

(経済観光部長)

浜村温泉館については4月から休止しており、ご迷惑をおかけしています。

浜村温泉館は昭和57年に建築され、平成9年に風呂の奥の部分を増築しています。元々は民間業者が運営されている施設でしたが、平成14年度に旧気高町が取得し、平成15年から営業を開始しました。平成16年に1階の風呂を旧気高町が整備し、合併以降は、気多の会に指定管理委託しています。

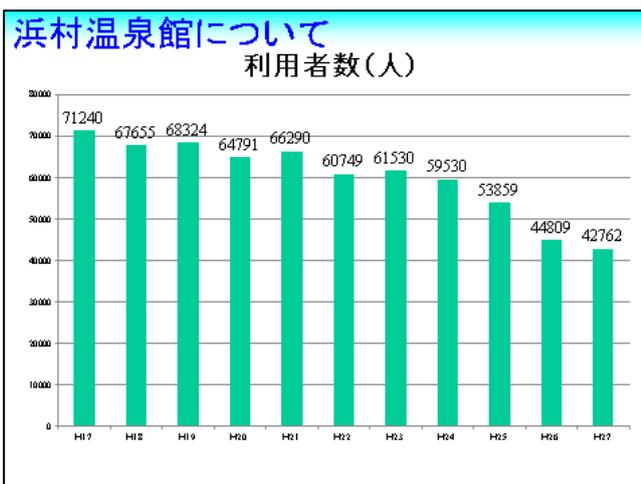
指定管理者も運営に苦勞されており、利用者数の減少に伴って営業時間数を減らしたと聞いています。

施設設備も、老朽化により不具合が生じています。指定管理が昨年度期限を迎えたことを受け、市の技師が施設を確認したところ、老朽化により危険な状況にあるため専門的な調査が必要とのことで、昨年10月に気高町地域審議会で経過報告させていただき、次期の指定管理を見送り、平成28年度に調査を実施することとしました。

屋根は剥落している所があり、外壁も剥落している状態です。また、消防局にも指摘されていますが、非常階段が腐食し使用できない状態となっていますし、屋上手すりも破損しています。この他にも、高圧充電設備の腐食や建物内の階段の傾きもあります。

給水や配湯については、今までもその都度修繕してきましたが、今後改めて指定管理を委託するにあたり、施設を改修するためにどの程度の経費が必要か、現在、10月末を目途に本格的な調査を行っているところです。この点検調査で施設の不具合箇所とその対応に要する概算費用を算出することとしており、今後は、皆様のご意見をいただきながら、施設の対応方針を検討していきたいと考えています。検討にあたっては、気高地域や鳥取西地域の活性化はもとより、運営方法や指定管理のあり方、ファシリティマネジメント等の幅広い観点で検討する必要があると考えています。

今年1月には気高地域審議会会長から意見書をいただいていますし、4月には浜村温泉



を守る会から4, 013名の署名をいただいています。また、8月25日には、まちづくり協議会を始めとした6団体からもご意見をいただくなど、浜村温泉館の存続に対する地域の皆様の切実な願いについては、十分認識しています。

調査結果が出次第、地域の皆様の思いを十分受け止めながら、皆様と一緒に検討していきたいと考えています。

(地元意見)

これからの浜村地区、とりわけ浜村温泉街のまちの賑わいと地域経済の活性化に向けて、まちづくり協議会内に観光経済部を設置し、協議会が中心となって、地域による主体的かつ自立した地域経営に取り組みたいと考えています。都市計画マスタープランに「小さな拠点」とありますが、まちづくり協議会もこれに沿って、地域経営を課題にしながら取り組みたいです。浜村温泉館の早期再開に向けた取り組みとして、受け皿会社の立ち上げも検討したいと思っています。事業が成り立つような経営の再構築にも踏み込まなければ、再開ということにはなかなかならないと思います。

これは私の考えですが、温泉事業だけではなかなか難しいと思います。浜村温泉館を「まちづくりの拠点」、「地域経営の拠点」としていく、あるいは貝がら節を保存・継承、交流できるような会館がないので併設するなど、様々な方策があると思います。複合施設化して人が集まるような仕組みを作ることです。浜村温泉館の年間利用者数4万人台です。鹿野町にあるホットピアの利用者数は8万人台です。その差は何なのかを考えながら、再開に向け、まちとしても検討していきたいと思っています。

また、浜村温泉の貝がら節は全国に誇る民謡ですが、これは浜村温泉とセットでまちの資産だと思っています。貝がら節は、元唄は別ですが、松本穰葉子の作詞と三上留吉の作曲であり、浜村温泉の旅館から誕生したことを考えれば、浜村温泉の風土と資産の灯は絶対に消してはいけないと思います。

そしてやはり、浜村温泉の観光客が激減している背景には、まちの魅力がなくなっていることがあると思います。まちの魅力を作り出すには、貝がら節や浜村温泉といった地域ブランドだけではなく、新しいブランドを立ち上げなければいけません。その取り組みとして、現在、浜村温泉湯けむり映画塾の取り組みが進められています。この活動をまちとしてサポートし、アートや映画によるまちづくりを新しい地域のブランドにして、新しい価値や文化、新しい顧客を呼び込んでいきたいと思っています。

また、空き店舗の活用もセットだと思っています。2月には、浜村でリノベーションスクールが開催される予定ですので、空き家対策を絡めたまちの賑わいづくりを進めたいと思います。

こういったまち全体の動きが出てくれば、浜村温泉館は十分事業として成り立つと思いますので、ぜひ早期再開に向けて検討してほしいです。

(深澤市長)

非常に素晴らしいご提言をいただきました。まず、感謝申し上げます。

本来であればすでに調査結果が出ているところでしたが、入札の手順等の影響で少しスケジュールが延びました。調査結果が出次第、再開に向け運営方法等を含めどういった方

法があり得るのか、結果をもとに、皆様と一緒にしっかり検討していきたいと思います。

今のご発言をお聞きして、すでにある程度答えが組まれているように感じました。鳥取西道路もこれから整備が進んでいきます。むしろ、好機が到来したと考えてよいのではないかと思います。企業誘致も含め、この鳥取西地域の活性化に取り組んでいく時期にあると思います。

貝がら節は、私も大変素晴らしい民謡だと常々思っています。地元で伝承されている小唄を三上留吉先生が採譜され、松本穰葉子さんの歌詞を乗せて全国に広めていかれる一つの契機にされたというのも、よく知られた話です。このような素晴らしい地域資源を活かしていく時機にあると思いますので、我々も地元の皆様と一緒に進んでいきたいと思えます。

(地元意見)

浜村温泉館の経営は民間委託する予定ですか。県外内問わず募集するのでしょうか。

(深澤市長)

そのことも含めて、今後検討していきたいと思えます。これまでは、指定管理者制度により地元の皆様に運営していただいていたので、先ほど、受け皿の会社として地元でというお話もいただきましたので、それも含めどういった形がよいか、一緒になって検討したいと思えます。現時点では、まだ具体的な方針は持ち合わせていません。

(地元意見)

目途はいつですか。

(深澤市長)

当初の我々の計画では、今頃は調査結果も出ているところでした。来年度の事業計画等や予算時期のこともありますので、今回の調査結果が出次第、そう時間をおかず速やかに検討していきたいと考えているところです。

2 企業誘致について

<地域課題>

企業誘致を進め、雇用の場が確保されれば、地域の発展につながります。

2017年度中に予定されている山陰自動車道「鳥取西道路」の開通を見据え、浜村鹿野インターチェンジが有効に活用できる近辺への企業誘致を促進していただきたい。

近年、休耕田も増加傾向にあり、土地の有効利用の観点からも検討をお願いしたい。

<担当部局の所見等>

【経済観光部】

本市では、若者が定住し活力ある産業を振興するよう、積極的に企業誘致活動に取り組んでいます。鳥取西地域における企業誘致についても、各総合支所と連携して工場適地の把握にも努め、誘致案件があれば候補地として紹介しているところです。

今後は、山陰自動車道鳥取西一青谷間が全線開通することにより、鳥取西地域（旧気高郡のエリア）においても、企業立地の優位性も増してくると思います。

「第10次鳥取市総合計画」においても、この地域（旧気高郡のエリア）での工業団地整備の検討を行うこととしており、候補地の検討作業に入ったところです。現在整備中の工業団地の分譲状況や今後の経済動向、雇用情勢、また財政状況等を総合的に勘案しながら進めていきたいと考えています。

（経済観光部長）

本市では、若者の定着や活力ある地域を目指し、現在、企業誘致に力を入れているところです。鳥取西地域における企業誘致についても各総合支所と連携し、空いた土地や建物がないか把握に努めたり、誘致案件があれば紹介するなどの取り組みを進めています。鳥取西地域は、今後、山陰自動車道の鳥取西一青谷間が全線開通すれば、企業立地の優位性が増してくる地域だと考えています。第10次鳥取市総合計画の中でも、次は鳥取西地域での工業団地整備の検討を行うこととしており、現在、内部で候補地の検討作業を行っているところです。

鳥取西地域の中でどこがよいかについては、様々な観点があります。企業が来るとなれば、県外と比較してどのような優位性があるか、例えば交通アクセスの問題や立地環境の問題、上水道や下水、道路といったインフラの問題、面積が取れるかといったことを含めて事業費を判断し、どこが適地か、まずは内部で検討したいと考えています。

現在河原町にある、山手工業団地と布袋工業団地の分譲状況を見ながら検討したいと思えますし、場所をどこに決めていつから動くかについては、経済動向や雇用情勢、財政状況等を総合的に見て、今後検討したいと考えています。

7 市政の課題等についての意見交換（フリートーク）

（地元意見）

浜村小学校のプールは昭和46年に竣工されて以来、本年で45年を迎えます。この間、プールで多くの子ども達が泳力と体力を向上させてきました。今年度からは、夏休み中に各学年が水泳教室を開催したり、土曜日には教育振興会やおやじの会が水泳教室を開催したり、夏休みの間プール開放を実施しています。ところが、45年という年月の経過と、潮風を受けた影響で、プール全体がかなり老朽化しています。

一昨年度と昨年度は、2日に30cm水量が減るという不具合が発生しました。給水すると周辺住宅の水圧が下がってしまうようで、周辺地域の皆様にご迷惑をおかけしました。この件は修繕してもらいましたが、45年が経過しているので、またいつどこから水が漏れるか分からない状況です。

プール周辺も、コンクリートにひびが入っていたり、倒れそうな場所もあります。最近では鳥取県中部地震の影響で倒壊しないか、また、道路に面しているので子どもの上にコンクリート壁が落下しないかといったことを非常に心配していますし、整備不良による事故が発生しないかなど、私のみならず保護者も心配しています。更衣室は壁がかなり傷んでいます。また、プール周辺のコンクリート壁が低く、誰でも中に入ることができるので、それも懸念しています。

旧気高町内4小学校のうち3小学校は合併前にプール改修を終えており、次は浜村小学校の順番だという時に合併を迎え、浜村小学校のプール改修計画が頓挫してしまったと聞き及んでいます。浜村小学校のプールだけが取り残されてしまったような状況で、保護者としては残念だと感じています。現状を改めて認識し、早急に検討してほしいです。

(教育委員会気高町分室長)

おっしゃるように、合併前の気高町では順番に改修が進められていましたが、「頓挫」ではなく、合併後、市内の小学校の耐震補強を優先して行ってきた経緯があります。本年度で耐震補強の目途が立つ状況になりましたので、来年度以降、プール改修にかかっていきたいというのが教育委員会の方針です。浜村小学校のプールは、市内の小学校の中で2番目に古いプールです。浜村小学校より古いプールが他にありますので、そちらとの兼ね合いもありますが、改修に取り組みたいという計画は持っていますので、ご承知おきください。

(深澤市長)

浜村小学校のプールは昭和46年竣工で鳥取市内で2番目に古く、老朽化が進行していることは我々も認識しています。プール改修も今後計画的に進めていきたいと考えていますが、まずは校舎や屋内運動場等の耐震改修等を優先してきました。ほぼ100%取り組みが終わろうとしています。次は、プール等を含めた関連施設等の耐震改修等に取り組んでいくこととなりますので、計画的に順次進めていきたいと考えています。

(地元意見)

気高地区の都市再生整備計画は28年度から32年度の5年間とのことで、今年度から始まっています。2億5,500万円の事業費とされていますが、進捗状況と5年間の計画について教えてください。

(都市整備部長)

気高地区の都市再生整備計画は今年度から事業が進んでおり、今年度は浜村駅前広場の設計が進んでいます。今年度設計を行い、平成29年度工事予定です。

来年度は浜村駅南側の駐車場や浜村駅前バス待合所の整備、気高健康推進計画の作成を計画していますし、平成30年度は、浜村温泉街の道路景観整備と気高周遊マップの作成等を計画しています。間接補助としては、平成29年度に、LED街灯整備として街路灯のLED化を計画しています。計画実施の際には、皆様に情報提供したいと思います。

(地元意見)

地域課題でも浜村温泉館の話がありましたが、都市再生整備計画の中で早くお願いしたいのは、浜村駅前通りの整備です。これがまちの活性化につながっていきます。ぜひよろしく願います。

(総合支所長)

内部で調整したいと思います。

(地元意見)

鳥取西道路が近々開通しますが、道の駅ができれば、気高、鹿野、青谷の「西因幡地区」と捉えられるようになると思います。浜村地区には、船磯のワカメの一株株主、逢坂のオーガニック、あるいはNASAでも認められた砂を固める技術など、いろいろありますので、こういったものを発信していかなければいけないのではないかと思います。

地域の人も一所懸命考えますが、行政の後押しも必要ではないかと思います。今の浜村を見てみると、例えばゆうゆう健康館けたかの看板などは、5か月か6か月ほど壊れたままになっています。敷地内まで入らないと何の施設か分からないような状態です。

鳥取西道路から降りてくる人の足を、浜村や鹿野、青谷に向かせるような取り組みをもう少しお願いします。

併せて、「気高道の駅(仮称)」という名称も、もう少し良い名称がよいと思うし、下手に建設されるので、上手からも見えるサインを充実してほしいと思います。「西因幡 浜村・鹿野温泉 道の駅」のような感じで考えてもらえればよいと思います。

(深澤市長)

サインの充実というのはおそらく、案内表示等を分かるようにすべきといったご提案だと思います。我々も今そのように考えています。せっかく立派な道の駅ができます。気高、鹿野、青谷には素晴らしい地域資源があると思いますので、素通りになってしまわないよう、サインなどの工夫はしなければならぬという話を、最近では市役所内部でもよくしているところです。しっかり対応していきたいと思います。

気高町だけの道の駅というよりむしろ、鳥取西エリアの1つの「拠点となる施設」と位置づけて考えたいと思っていますし、この道の駅から地域資源を情報発信するチャンスが到来すると考えています。

山陰道も仮称吉岡温泉インターから青谷インターまでは平成29年度中に供用開始すると国土交通省も言っておられます。残る鳥取西インターから仮称吉岡温泉インターまでの間が最後になりましたが、これもそれほど間をおかずに整備していただけるのではないかと期待していますし、市としても、折に触れて要請しています。この鳥取西エリアのまちづくりや活性化を図っていくチャンスだと思っています。

後押しということではなく、我々も皆様と一緒に情報発信等の取り組みをしていきたいとの思いです。

(都市整備部長)

現在、具体的な基本設計ということで検討を進めているところですが、その中で、鳥取西の3地域の代表者から様々なご意見等をいただいています。いただいたご意見の反映にも取り組んでいきたいと思っていますし、地域資源を道の駅から情報発信していくことも必要だと思っています。

道の駅の名称につきましては、地域の皆様や市民の皆様等にご意見を伺いながら進めていきたいと思っています。

(総合支所長)

ゆうゆう健康館けたかの看板については、早めに修繕に取りかかるよう取り組みます。すみませんでした。

(担当課補足：中央保健センター)

平成28年12月、修繕を完了しました。

(地元意見)

健康づくり推進委員をしています。

本日の地域づくり懇談会の冒頭で、鳥取市都市計画マスタープランの説明がありました。市民サービスの拠点の説明の中に、「各総合支所周辺等を地域生活拠点と定め…」とありますが、先日気高町総合支所でトラブルがあり、まだ再開されていません。市民サービスを行うにしても、総合支所がきちんとならなければ進まないと思います。なるべく早急に建設をお願いします。

(深澤市長)

総合支所で発生した火災により、地域の皆様大変ご不便とご迷惑をおかけしています。改めてお詫び申し上げます。改修等を含め、早急に取り組んでいきたいと思っています。改修内容については、おおむね地域の皆様にご理解いただけたのではないかと考えています。まだ、具体的な時期や内容についてはまとめきれませんが、課題であることは重々認識しており、内容が固まったらできる限り早く進めていかなければならないと思っています。

(地元意見)

今、総合支所の業務はトレーニングセンターに分かれています。トレーニングセンターでは、これからの時期スポーツ大会などが開催されるようになるので、町民は大変不便を感じています。

仮設のプレハブ施設を作ることはできないのかと私は思います。総合支所の建設に早く取り組むとは聞いていますが、何年先になるか分かりません。工事が始まれば仕事もできなくなると思います。前向きに検討してほしいです。

(深澤市長)

仮設のプレハブ施設とのご提案ですが、我々としては、総合支所本庁舎の建設を、何年も先ということではなく、できる限り早く進めたいと思っています。いただいたご意見も含めて検討したいと思いますが、できる限り急ぎたいと思います。

(地元意見)

図書館フレンズの委員をしています。気高図書館には会合ができる部屋が1室ありますが、10人程度入るのがせいぜいといった広さで、図書館に併設された部屋とは思えない

状況です。ぜひ部屋を拡充してほしいです。

(深澤市長)

実際に使い勝手でご不便をおかけしているかどうか、状況を確認したいと思います。

(担当課補足：中央図書館)

現敷地内での増築は困難と考えます。

今後も、他施設と連携して事業を行います。

(まちづくり協議会長)

今日、地域の皆さんからいろいろな課題について発言がありました。私は、まちづくり協議会という立場で、いろいろな団体と協力しながら、少しでも地域が良くなるよう課題解決に向け取り組んでいきたいと思っています。

その上で、当面急ぐ課題もあります。総合支所の庁舎問題や、浜村温泉館は多くの町民が大変高い関心を示した案件でもあります。本日、まちづくり協議会の関係者からも提案がありましたが、我々もいろいろ知恵をしばりながら、検討を重ねているところです。

我々のプランとしての思いは、またどこかの機会でぶつけていきたいと思いますが、市も我々以上の良いプランを見つけていただき、より良い案ができることによって、浜村温泉館が今まで以上に活性化された施設として、町民が期待を持てるような施設に生まれ変わっていくよう最大限努力していきたいと思っていますので、ぜひ協力をお願いします。

8 市長あいさつ

一言お礼のご挨拶を申し上げます。

最後にまちづくり協議会長から、まちづくりについてご発言いただき、締めくくっていただいたように思います。本当にありがとうございました。

本日は大変限られた時間でしたが、これからのまちづくりや地域の活性化等について皆様の思いをしっかりと伺いすることができ、大変良かったと思います。しっかり受け止めたいと思います。すぐに解決に向けて取り組めない部分もあるかと思いますが、中長期にわたり考えていかなければならないこともあろうかと思いますが、皆様と一緒に気高町浜村地区のまちづくり、また鳥取市のまちづくりを進めていきたいという思いを新たにしました。

地域づくり懇談会は2年に一度の開催ですが、ご提言等をいただけるということであれば、地域づくり懇談会だけではなく、総合支所、あるいは直接本庁舎にご意見いただければ大変ありがたいと思いますので、引き続きよろしくをお願いします。

熱心にご議論いただいたことに心から感謝申し上げます、ご挨拶に代えさせていただきます。本日は本当にありがとうございました。